

平野正樹 教授 略歴

1952年 7月20日 岡山県高梁市生まれ

学 歴

1977年 3月 大阪市立大学経済学部 卒業

職 歴

1977年 4月～2001年 3月 大蔵省（後の財務省）理財局国債課，大臣官房調査企画課
経済企画庁（後の内閣府）経済研究所，米国ジョージタウン大学・財務省・
FRB（連邦準備制度理事会），さくら総合研究所（後の日本総合研究所）等

2001年 4月～2003年 3月 岡山大学経済学部助教授

2003年 4月～2018年 3月 岡山大学大学院社会文化科学研究科・経済学部教授

2009年 4月～2011年 3月 岡山大学大学院社会文化科学研究科副研究科長

2012年 4月～2016年 3月 経済学部副学部長

2016年 4月～2018年 3月 経済学部長

2001年 4月～2018年 3月 倉敷市水道事業経営審議会会長
岡山県市町村消防の広域化検討委員会会長等

資 格

国家公務員試験（上級職・経済職）

平野正樹 教授 主な研究業績

単 著

2002『地方財政論－受益と負担関係明確化へのシナリオ－』慶應義塾大学出版会.

(以下では分担執筆の章と該当頁は記載していない。)

共 著

1999『経済用語の基礎知識』ダイヤモンド社.

1999『受益と負担の経済学』日本評論社.

2008『介護福祉のための経済学』弘文堂.

2015『現代公共政策のフロンティア』岡山大学出版会.

主な論文

2003 “A Study on the Burden of the Public Debt in Japan through System of National Accounts” 岡山大学経済学会雑誌第34巻第4号.

2005 「消費税の論点整理と益税問題」岡山大学経済学会雑誌第36巻第4号.

2006 「『家計調査』からみた税制改革の視点」岡山大学経済学会雑誌第38巻第3号.

2011 「わが国の財政支出の拡大について考える」岡山大学経済学会雑誌第43巻第3号.

2012 「わが国の財政赤字 何が問題か」岡山大学経済学会雑誌第43巻第4号.

2013 「地方交付税の合併算定替え終了が市町村に及ぼす影響－財政調整機能は維持されるか－」岡山大学経済学会雑誌第45巻第2号.

主な調査報告書

1995 「平成不況における財政政策の経済効果の検討」さくら総合研究所調査レポートNO.7.

1996 「わが国の財政赤字の現状をどうみるか」さくら総合研究所調査レポートNO.9.

1996 「財政再建に効果を発揮する新指標」さくら総合研究所調査レポートNO.11.

1997 「見直しが必要な政策金融の手法」さくら総合研究所調査レポートNO.15.

1997 「財政構造改革をどのように進めるか」さくら総合研究所調査レポートNO.17.

1997 「21世紀に向けたわが国の財政運営のあり方」さくら総合研究所調査報告vol.1.

2000 「財政再建の将来ビジョン」さくら総合研究所調査レポートNO.21.

所属学会

日本財政学会・日本地方財政学会・中四国商経学会